

(2008年10月6日まとめ)

キャリア初期研究者両立サポートセンター開所記念シンポジウム 「これからのキャリア初期研究者支援－早稲田の取り組み－」開催報告

2008年9月25日、大久保キャンパスに「キャリア初期研究者両立サポートセンター（略称サポートセンター）」が開所し、同日、開所記念シンポジウム「これからのキャリア初期研究者支援－早稲田の取り組み－」を開催致しました。

学内、学外から61名の参加があり、教員、職員、大学院生、研究者等幅広い方々にご聴講いただきました。



前半に本学の取り組み報告として、男女共同参画推進室の浅倉むつ子室長が、サポートセンターならびに本学の男女共同参画推進事業を紹介し、女性研究者支援総合研究所の笹野悦子客員講師より、サポートセンターの開所のきっかけの一つとなったキャリア初期研究者に対する調査結果から、彼らの実情と支援ニーズについての報告がなされました。又、男女共同参画推進室の設置ならびにサポ

ートセンター開所に尽力を尽くした、女性研究者支援総合研究所（文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成 研究者養成のための男女平等プラン」事業執行機関）の棚村政行所長より、これまでの活動報告がなされました。

後半は、「研究者養成のための男女平等プラン」公開外部評価委員会を開催し、パネルディスカッション形式で、各界の有識者である外部評価委員の先生方から、科学技術振興調整費事業終了後の早稲田大学としての男女共同参画推進事業の有り方について、貴重なご助言をいただきました。





右より

- ▶大野曜氏（財団法人 日本女性学習財団理事長）
 - ▶名取はにわ氏（内閣府 情報公開・個人情報保護審査会委員）
 - ▶松本紘氏（京都大学総長）
- 以上外部評価委員
- ▶清水敏常任理事
 - ▶越川房子文学学術院教授

.....

「今後サポートセンターに期待すること」（アンケート結果より）

- ・各キャンパスにサポートセンターの設置を。
- ・なんとんでも同じサポートセンターを早稲田キャンパスにも作っていただきたい。以前このことを事務方にご提案したところ、「そんなものは使う人自体がない」と言われてしまった。やはり早稲田の教職員がもう少し現状を把握し、意識を高めていくような取り組みを（必ずしも子育て中の人のみならず周りの人々も）していくべきではないか。
- ・他大学との連携、特に女子大学との共催・共同研究の勉強会などをお勧めしたい。シニアの男性教員の意識改革に大いに期待している。
- ・具体的成果をホームページ等でどんどん紹介していただければと思います。
- ・財政的キャリアデザイン、家庭を作る事のキャリアデザイン、仕事のデザインが必要と思われまます。チャンスもお金も希望もない・・・という状態では若手は支えられません。グローバルな視点で産学協働でお金、物、チャンスを広げたいと思いました。
- ・「キャリア初期研究者」という言葉が浸透していないので、まずその周知をしっかりと行うべきである。続いてそのセンターの役割を知らしめるべきであろう。

以上